

(別紙)

水稻の刈取状況（9月30日現在概況速報）について

- 1 9月30日現在、県全体で22%の水田で刈取りが終了しており、平年と比較して10ポイント遅い刈取割合である。刈取始期は9月27日頃と推定され、平年よりも2日遅れている。
- 2 地帯別には、北上川上流が20%、北上川下流が24%、東部が21%、北部が5%となっており、特に北部で刈取りが遅れている。

表1 水稻の地帯別刈取状況（9月30日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	9月30日現在刈取割合(%)		本年(月/日)			平年(月/日)			平年差(日)		
	本年	平年	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	20	34	(9/26)	-	-	9/23	10/5	10/15	(+3)	-	-
北上川下流	24	31	(9/27)	-	-	9/26	10/4	10/12	(+1)	-	-
東部	21	44	(9/28)	-	-	9/24	10/1	10/10	(+4)	-	-
北部	5	27	-	-	-	9/27	10/6	10/14	-	-	-
県全体	22	32	(9/27)	-	-	9/25	10/4	10/13	(+2)	-	-

注) 1 平年値：過去10カ年（H20～H29）の平均値

2 始期、盛期、終期：それぞれ概ね10%、50%、90%刈取った時期を示す

3 本年値はすべて推定値である。全地帯で未確定市町村がある。

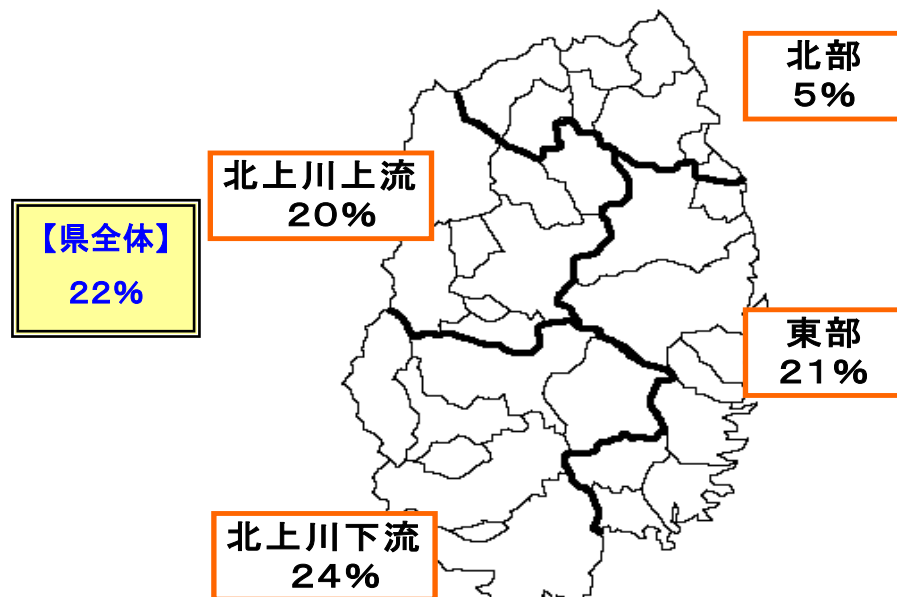


図1 水稻の地帯別刈取進捗率（9月30日現在、各農業改良普及センター調べ）

3 管理のポイント

- ・刈遅れは着色粒・胴割粒など品質低下の原因となるので、適期に刈取りを行うこと。
- ・倒伏した圃場では、作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- ・収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
- ・籾の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- ・自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。

※次回の報告は10月16日（火）の予定です。（10月15日現在の刈取状況）